

令和5年度

木頭小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、主体的に学習する力を伸ばすための指導の実践。
- 話し合い活動を充実させ、自分の考えについて、根拠を明らかにしながら表現できる児童の育成。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員
 宮本 拓海 校長 中島 功 教頭 上田 剛
 5・6年担任 中山 愛梨 2年担任 中田 佳奈
 1年担任 久保 佳加
 養護助教諭 佐々木 凜

校長

中島 功

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた学習課題に素直に取り組んでいる児童が多い。 ●基礎的基本的な知識は定着しつつあるが、実生活での活用がまだまだ不十分である。	・一人一人が自身の学習課題を把握し、基礎的基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ・基礎的基本的な知識を実生活の中でも活用できる。	・タブレットドリル等を活用し、個に応じた課題に取り組ませるなどの工夫を行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ・学習の中で、適切な語句を使って説明したり、自分の考えを文章でまとめたりできるような活動を積極的に取り入れる。		・タブレットを活用した反復練習で、知識・技能の定着が促された。 ・即興的に思いや考えを言葉にできる場面が増えた。 ・感想を書く機会が多く、文章量が増えた。	・発達段階によっては、必ずしもタブレットドリルの使用が最適とは限らないことを留意する必要がある。 ・文章において適切な表現を選ぶための語彙力を付けていく必要を感じた。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○他者の意見を聞き、受け入れることができる児童が多い。 ●相手が伝えたいことや言いたいことをくみ取って、自分の意見や考えを伝えることが苦手な児童が多い。	・相手の意見や考えを想像し、自分の思いを伝えることができる。 ・相手や目的を意識して、自分の考えを積極的に話したり書いたりすることができる。	・問題文の大切な所に下線を引かせるなど、聞かれていることを意識できるようにする。 ・タブレットや付箋、ホワイトボード等を活用し、自分の考えを明確に伝えられるような工夫を取り入れる。		・下線を引く習慣から、ケアレスミスや読み間違いが減った。 ・文章中の大切なことを焦点化できておらず、聞かれていることとずれた解答をする児童も見られた。	・友達の発表を再度説明させたり、練り直しや問い返しの機会を増やしたりして、より焦点化された考えを持てるような授業展開を意識する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、素直に一生懸命取り組むことができる。 ●自分で課題を見つけ、課題解決に向けて取り組むことが苦手である。	・自分を高めようという意欲をもち、主体的に学習に取り組むことができる。 ・多様な意見を取り入れて課題解決に向けて自分の考えをもつことができる。	・ふるさと学習を軸に、自ら課題を見つけ、追究する楽しさを知る機会を設ける。 ・近隣校との交流学习の場を設け、学習の活性化と子どもの学習意欲の向上に努める。		・交流学习では、多人数授業に混じることで多様な意見に触れることができた。 ・ふるさと学習では、始めに調べたいことを明確化したことで、見通しをもって学習に取り組むことができていた。	・見通しを立てて交流学习を計画する。 ・課題意識を持てるような授業展開、ノート指導をする。

令和5年度 学力向上ロードマップ

